

「ハムレット」の 哲学とキリスト教

*To be, or not to be,
that is the question.*

ハムレットは優柔不断な、ひ弱な青年と誤解されてきたが、実は行動力に満ちた偉丈夫である。『ハムレット』は、カトリックとプロテスタントが対立していた時代に書かれ、「人間とは何か」という問いを追究する哲学的作品である。この作品をどう読み解けばよいのか、そして「生きるべきか、死ぬべきか、それが問題だ」という有名な台詞の真の意味は何なのか。有名な箇所原文の音読を交えながら、作品の神髄を究めてゆく。

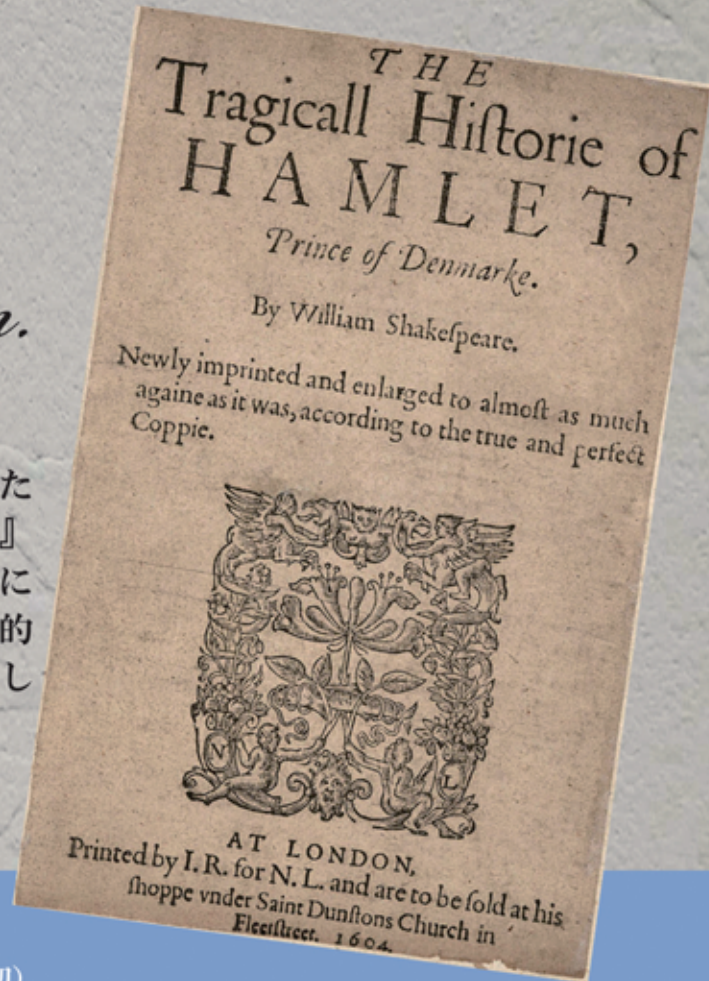


図:シェイクスピア「ハムレット」第2クオート版(1604年)

会場：日比谷図書文化館 地下1階
 日比谷コンベンションホール（大ホール）
 定員：200名（事前申込順・定員に達し次第締切）
 参加費：1,000円



■講師 河合 祥一郎

(東京大学大学院総合文化研究科教授)

英文学者。東京大学英文科卒。同大学院博士過程とケンブリッジ大学修士・博士課程修了、両大学より博士号取得。読売演劇大賞選考委員、国際演劇評論家連盟会員、新国立劇場評議員、彩の国シェイクスピアシリーズ企画委員会委員長。主著に『謎解き「ハムレット」』（ちくま学芸文庫）、サントリー学芸賞受賞の『ハムレットは太っていた!』（白水社）、『シェイクスピアの正体』（新潮文庫）、『シェイクスピア』（中公新書）など。戯曲に『盗人』、文楽『不破留寿之太夫』ほか。



■アクセス

- 【都営地下鉄】
- 三田線「内幸町駅」A7出口 徒歩3分
- 【東京メトロ】
- 千代田線「霞ヶ関駅」C4出口 徒歩3分
- 丸ノ内線○日比谷線「霞ヶ関駅」B2出口 徒歩3分
- 【JR線】
- 「新橋駅」日比谷口（SL広場）徒歩10分



■お申し込み方法

- ①電話 (03-3502-3340) ②Eメール (college@hibiyal.jp)
 - ③ご来館 (1階受付) いずれかにて申し込み希望の講座名・お名前(よみがな)・お電話番号をお知らせください。
- ※小学生以下のお子さまが参加される場合、保護者の同伴が必要です。(同伴者の方にも参加費が必要です)
- ※当施設に駐車場・駐輪場はございません。公共交通機関をご利用ください。